

～夜の楽しみ～

星の観察会

No.33



杉野小学校に赴任された田中彰先生が、13年前（2006年）に4年生の理科の授業で、星のことを勉強していて、その時に実際に星を観察してみようということになったのが始まりです。夏休みの天体観測がしやすい日を選んで実施されました。観測は夏の大三角形、星座の名前、月や土星・木星などを天体望遠鏡で観察しました。平成24年（2012年）の金環日食のときは、朝早くに登校して観察したこともありました。星の観察会の日、一番困るのが、中止にするかしないかの判断だそうです。星の観察会を開く当日には、晴れてほしいという思いでいっぱいだそうです。杉野で星を見るメリットは、明るいものがあまりないため、天の川や星の色なども観察できることです。星がとても綺麗に見られます。でも周りが山で囲まれているために、空の全体の面積が小さくて、特に南の星が一部見られないのが残念です。杉野小中学校が令和2年に閉校しますが、地域のみなさんの希望があれば実施していきたいとおっしゃっていました。

選んだ理由

僕が、これを選んだ理由は、生まれて物心がついた時から星の観察会あって、星を観察するのが大好きで、いつも参加していたからです。杉野小中学校の星の観察会はなぜ始まったのか気になって調べることにしました。この杉野小中学校が閉校して今後できなくても、杉野で見る美しい星をいつまでも忘れることがないように選びました。